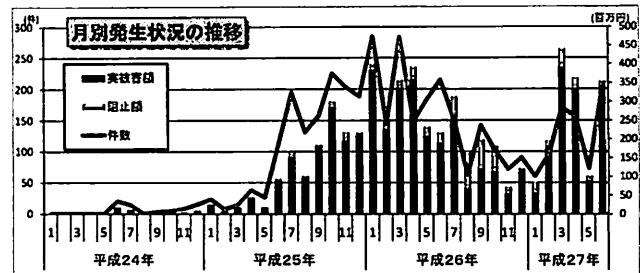


公安委員会 説明資料No. 1	平成27年度全国警察柔道選手権大会及び 全国警察剣道選手権大会の開催について	平成27年9月3日 人 事 課
<p>1 開催日時 平成27年9月11日(金) 午前9時00分から午後6時00分ころまで</p> <p>2 開催場所 日本武道館</p> <p>3 競技方法</p> <p>(1) 柔道(トーナメント戦・男子5分間、女子4分間の1本勝負、時間内に勝敗が決しない場合は、時間無制限の延長戦)</p> <p>ア 男子個人戦 無差別、100kg級、90kg級、81kg級、73kg級及び66kg級の6階級</p> <p>イ 女子個人戦 63kg超級、63kg級及び52kg級の3階級</p> <p>(2) 剣道(トーナメント戦・時間無制限の1本勝負) 男子個人戦及び女子個人戦</p> <p>4 出場選手</p> <p>(1) 柔道 211名</p> <p>ア 男子 171名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皇宮警察本部及び各都道府県警察代表選手 138名 ・ 昨年度全国警察柔道選手権大会成績上位者 23名 ・ 本年度部外大会出場者 10名 <p>イ 女子 40名</p> <ul style="list-style-type: none"> 皇宮警察本部及び各都道府県警察代表選手 40名 <p>(2) 剣道 213名</p> <p>ア 男子 124名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皇宮警察本部及び各都道府県警察代表選手 96名 ・ 昨年度全国警察剣道選手権大会成績上位者 16名 ・ 昨年度部外大会成績上位者 12名 <p>イ 女子 89名</p> <ul style="list-style-type: none"> 皇宮警察本部及び各都道府県警察代表選手 89名 <p>5 表彰</p> <p>(1) 柔道 男子、女子の各階級優勝及び第2位 計 18 名</p> <p>(2) 剣道 男子～優勝、第2位、第3位(2名)及び第5位(4名) 女子～優勝、第2位及び第3位(2名) 計 12 名</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 本年度におけるその他の警察術科大会の開催日程</p> <p>ア 10月13日(火) 全国警察剣道大会(団体戦)</p> <p>イ 10月14日(水) 全国警察柔道大会(団体戦)</p> <p>ウ 11月17日(火) 全国警察逮捕術大会及び全国警察拳銃射撃競技大会</p> <p>(2) 大会当日は、午後2時30分から閉会式まで、部内に中継予定</p> <p>(3) テレビ朝日が全国警察剣道選手権大会の様態を撮影し、後日CSチャンネルで放映予定</p>		

1 平成27年上半期の発生状況

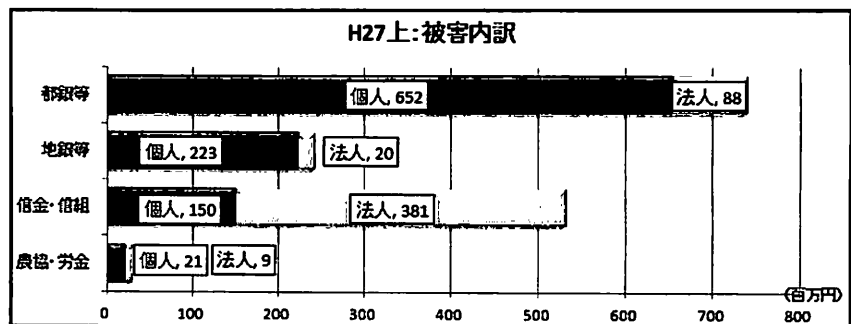
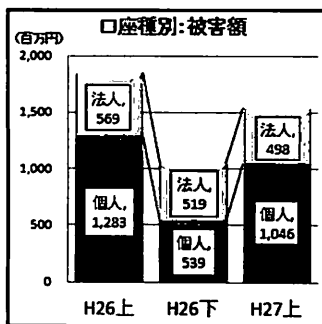
(1) 発生件数及び被害額 754件 約15億4400万円

期間	件数	被害額 (実被害額)
H27上	754件	約15億4400万円 (約13億7500万円)
H26下	619件	約10億5800万円 (約7億2600万円)
H26上	1,257件	約18億5100万円 (約17億1000万円)



※ 被害額・・・犯人が送金処理を行ったすべての額

※ 実被害額・・・「被害額」から金融機関が不正送金を阻止した額を差し引いた実質的な被害額



(2) 特徴

- 前年下半期は、被害がやや減少していたものの、本年上半期は再び増加に転じた
- 信用金庫、信用組合、農業協同組合、労働金庫に被害が拡大 (別紙「1」、「2」、「3」)
- 特に信用金庫の法人口座で被害が急増 (別紙「2」、「3」)
- 不正送金先口座は、中国人名義のものが過半数を占める (別紙「5」)

2 取組状況

- (1) 口座売買等の関連事件58事件で88人を検挙 (前年同期比-11事件・-45人、前年下半期では+12事件・-12人) (別紙「6」)
- (2) 外国捜査機関と連携したウイルス通信先サーバの停止
- (3) ウイルス無害化措置による被害拡大防止対策の実施
- (4) 信用金庫に対して当日送金の停止等の被害防止対策を要請

3 今後の取組

- (1) 事件の徹底検挙及び関係機関等と連携した被害防止対策の継続実施
- (2) (一財) 日本サイバー犯罪対策センター (JC3) との連携強化
- (3) 外国捜査機関との一層の連携強化

【薬物情勢】

1 薬物事犯の検挙状況

- 薬物事犯検挙人員は前年同期比で増加。
- 覚醒剤事犯検挙人員は横ばいの一方で、大麻事犯検挙人員は増加。

2 覚醒剤密輸入事犯の検挙状況

- 検挙件数・押収量は前年同期比で減少。
 - ・中国、メキシコ仕出しの減少
 - ・「運び屋」検挙件数の減少

3 危険ドラッグ事犯の検挙状況

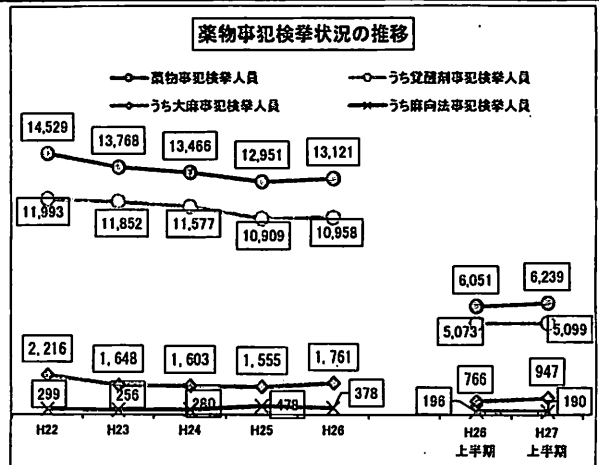
- 指定薬物に係る医薬品医療機器法違反の検挙人員は前年同期比で大幅に増加。その約8割は平成26年4月1日施行の指定薬物単純所持・使用罪等による乱用者の検挙。
- 危険ドラッグ事犯検挙人員の約7割は平成26年末までに認知したものの。

【銃器情勢】

- 銃器発砲事件数は減少傾向が継続。本年上半期は3件で過去最少。
- 暴力団からの拳銃押収丁数は28丁で過去最少。

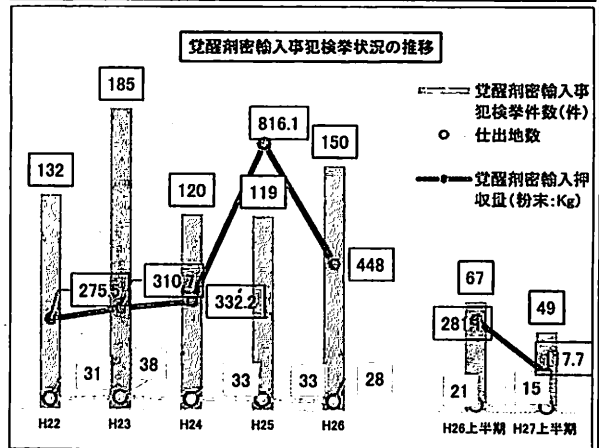
【今後の取組方針】

- 薬物密輸・密売組織及び末端乱用者の取締強化と再犯防止のための関係機関との連携。
- 流通形態の潜在化を踏まえた関係機関との連携による危険ドラッグ対策の継続。
- 積極的な情報収集による拳銃摘発の強化。

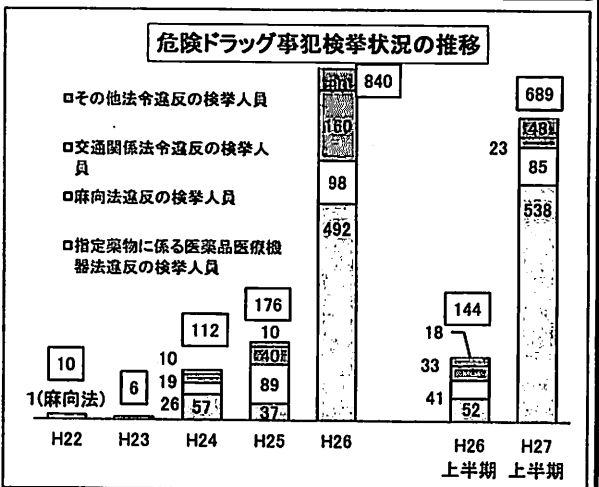


1~4 頁

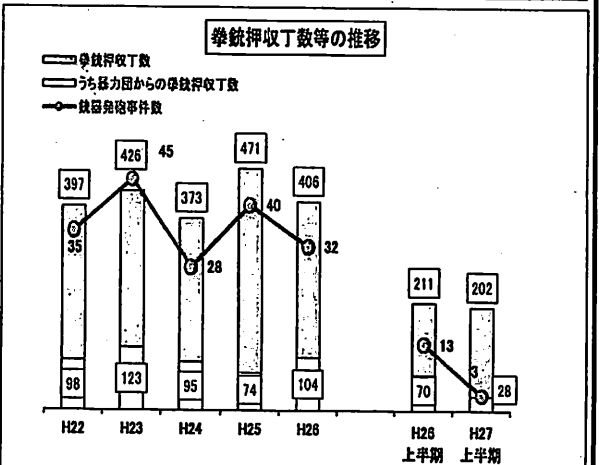
5~7 頁



10~12 頁



15~18 頁



公安委員会 説明資料No. 4	指定暴力団六代目山口組の動向 と対策について	平成27年9月3日 組織犯罪対策企画課 暴力団対策課
---------------------------	---------------------------	----------------------------------

1 概要

- (1) 平成27年8月27日、指定暴力団六代目山口組は、同組から離脱の動きがあった13の傘下組織の組長等に対し、「絶縁」及び「破門」の処分を下した模様
- (2) 離脱の理由は、弘道会中心の現行山口組体制への不満との情報がある。
- (3) 今後、離脱組織により、新団体が設立されるとの情報がある。

2 都道府県警察に対する指示の状況

(1) 通達の発出

平成27年8月27日、都道府県警察に通達を発出し、

- 関連情報の収集及び報告
- 警戒の強化
- 取締りの徹底

について指示した。

(2) 「全国緊急暴力団対策・取締担当課長会議」の開催

平成27年9月2日、警察庁に都道府県警察の暴力団対策及び暴力団の取締りを担当する課長を集め、全国警察を挙げた各種取組の強化を指示した。

1 実施期間

平成27年9月21日（月）から同月30日（水）までの10日間

2 主催

内閣府・警察庁等10府省庁、都道府県、市区町村、(一財)全日本交通安全協会・自動車安全運転センター等13団体

3 運動の目的、運動重点等

広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

(1) 運動の基本

子供と高齢者の交通事故防止

(2) 全国重点

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

(3) 地域重点

地域の交通事故実態等に即して必要があるときは定める。

4 警察における運動推進の基本的な考え方

本運動を交通死亡事故抑止に向けた取組強化の絶好の機会と捉え、自治体や関係機関・団体と連携して交通安全意識の高揚を促進する取組を推進する。

5 都道府県警察における主な取組事例

- 高齢者運転者を対象に実車及び運転シミュレーターを活用したシルバードライビングスクール 【秋田県警察】
- 自転車の安全利用を図るための三世代ふれあい自転車大会 【鹿児島県警察】
- 明るい服装や反射材の視認効果の体験等を含む夜間の交通安全教室 【栃木県警察】
- 子育て中の母親を対象としたチャイルドシートの正しい取付指導及びシートベルト着用効果体験 【沖縄県警察】

6 その他

- 通学路における全国一斉取締りの実施 【各都道府県警察】